

## 「いたばし応援基金」令和4年度事業（実績）

令和元年度より実施しているクラウドファンディングを通じていただいた寄付金の一部を以下の事業に活用しました。

### 1 クラウドファンディング【基金充当額 10,809千円】

事業名：児童養護施設卒園者住まい応援プロジェクト			
事業費	629千円	基金充当額	629千円
【事業概要】 進学する児童養護施設卒園者を対象に、生活費の中でも負担の大きい住居費用を一部助成することにより、進学のと機会と学業に専念できる環境を整備し、卒園者が夢と希望をもって巣立つことができるよう支援しました。			

事業名：美術品所蔵作品の修繕プロジェクト			
事業費	3,708千円	基金充当額	1,015千円
【事業概要】 美術館に収蔵している美術品は、区民の財産であり館蔵品展の中で身近な芸術作品として感じ取っていただいています。 これらの美術品を適切に保管し次世代に伝えていくため、専門事業者による修復、保全を行いました。			

事業名：新型コロナウイルス感染症対策			
事業費	402,233千円	基金充当額	4,645千円
【事業概要】 新型コロナウイルス電話相談窓口設置のほか、保健所運営体制強化による新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と区内病院間の連携体制構築による新型コロナウイルス入院病床の確保など、医療体制の支援をしました。			

事業名：ウクライナ避難民緊急支援プロジェクト			
事業費	7,905千円	基金充当額	4,508千円
【事業概要】 ウクライナからの避難民やその関係者の方を対象として、生活一時金の支給をはじめ、窓口での通訳体制の整備、ボランティアによる生活支援、音声通訳機の無償貸与、ウクライナ語での行政情報の提供等に活用しました。			

このほか、植村直己生誕80周年記念プロジェクト、文化財古民家「旧粕谷家住宅」応援プロジェクトについては、令和3年度の充当残額7千円、5千円をそれぞれ令和4年度事業費に充当しました。